

TOTO

台所用「きれい除菌水」生成器（タッチレス）

TKG12504型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1. 安全上の注意(安全のために必ずお守りください)


取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。


- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。






- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

 は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。

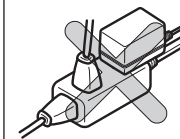
 は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告		
 禁止	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。	
	電源プラグや機能部に水をかけない 火災や感電の原因になります。	
	指定する電源（AC100V）以外では使用しない 火災の原因になります。	交流の100V以外はダメ! 
	施工時に電源プラグをコンセントに繋げない 火災や感電の原因になります。	

警告

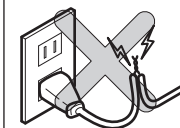
コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



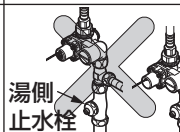
電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。



電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない
火災や感電の原因になります。

分岐金具・フレキシブル管を湯側に配管しない
湯が出てやけどすることがあります。また水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。





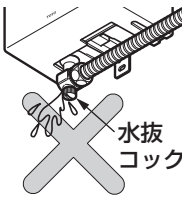

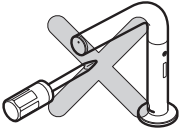
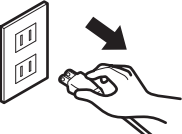

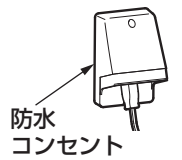
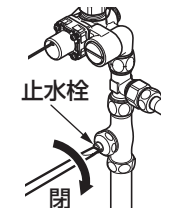
雷が発生しているときは、電源プラグに触れない
感電の原因になります。




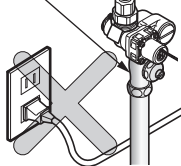
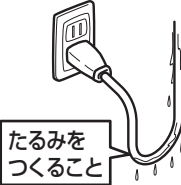
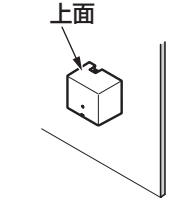
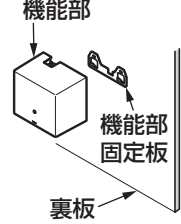
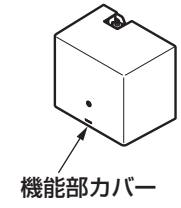

禁止


接触禁止

警告



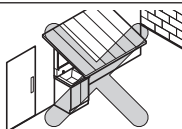

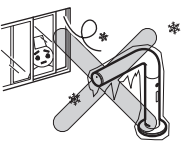
 必ず実行	 禁止	<p>寒冷地用</p> <p>水抜コックは水抜き以外の目的で開けない 水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	 <p>水抜コック</p>
	 分解禁止	<p>分解したり、修理・改造は絶対に行わない 火災や感電の原因になります。</p>	
	<p>電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。</p>		
	<p>電源プラグを差し込むときは根元までしっかり差し込む 火災や感電の原因になります。</p>	 <p>根元までしっかりと!</p>	
	<p>コンセントや電源プラグに給水管などの結露水や使用時の水滴がかからないよう、コンセント取付位置や防水コンセントの使用など配慮すること 火災や感電の原因になります。</p>	 <p>防水コンセント</p>	
<p>フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルター継手をゆるめずに、必ず止水栓または元栓を確実に閉めてから行う 水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	 <p>止水栓 閉</p>		

警告

 必ず実行	<p>電源コードは高温部に接触しないようにする 火災や感電の原因になります。</p>	<p>高温部 (湯側止水栓)</p> 
	<p>電源コードを伝ってコンセントに水がかからないようにコンセント付近で必ずたるみをつくるよう、配線すること 火災や感電の原因になります。</p>	 <p>たるみをつくること</p>
	<p>機能部の取付方向を確認し上下に注意して取り付ける 正しい向きに取り付けられないと、機能部内に水が浸入し火災や感電の原因になります。</p>	<p>上面</p> 
	<p>機能部は機能部固定板を用いて必ず裏板に取り付ける 裏板に取り付けられないと、機能部内に水が浸入し火災や感電の原因になります。</p>	<p>機能部</p> <p>機能部固定板</p> <p>裏板</p> 
	<p>機能部カバーは確実に取り付ける カバーが取り付けられないと、機能部内に水が浸入し火災や感電の原因になります。</p>	<p>機能部カバー</p> 

1-3.

注意

 禁止	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	屋外には設置しない 故障の原因または、部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
 必ず実行	凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く また、寒冷地用の場合は、9. 寒冷地用の水抜き方法を参照し、凍結予防を確実にを行う 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

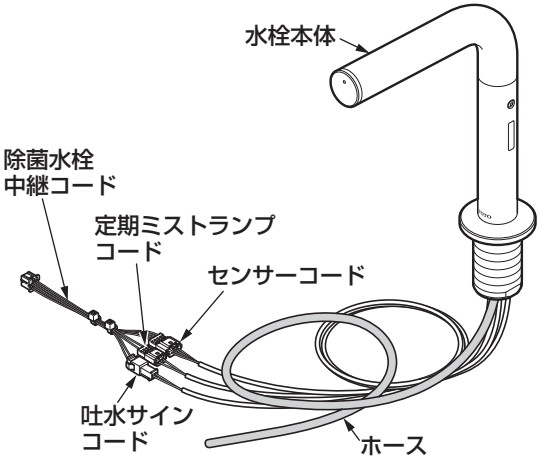
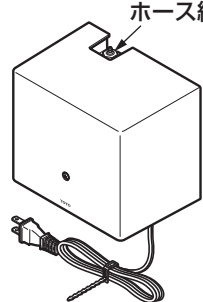
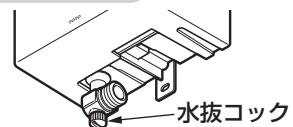
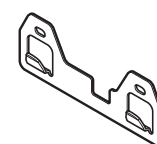





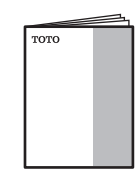

2. 仕様

電源電圧		AC100V 50/60Hz 50W
給水圧力	最低必要水圧	0.07MPa (流動時)
	最高水圧	0.75MPa (静止時)
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-5~40℃ (ただし0℃以下は水を抜いた状態)
吐水量		0.25L/min
電源コード長さ (機能部外)		750mm
センサーコード長さ		1300mm
LEDコード長さ		1300mm
ホース長さ		850mm
給水接続		G1/2
用途		一般住宅台所用

※消費電力は水質により変動します。

3-1. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

吐水部	機能部
	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 寒冷地用  </div>
その他	
 機能部固定板	 ホースバンド
 タッピングねじ (3本) (機能部固定用ねじ)	 コードクランプ (2個)
 座金	 つば付きナット
<div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 必ずお客様にお渡しください </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  取扱説明書 </div> <div style="text-align: center;">  取扱説明札 お客様への重要なお願い (寒冷地用のみ) </div> </div>	

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

3-2.

別梱包

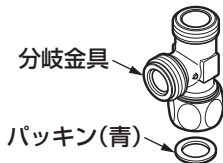


フレキシブル管



パッキン
(青・2個)

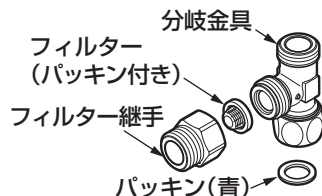
浄水兼用タイプと
セットされる場合



分岐金具

パッキン(青)

浄水なしタイプと
セットされる場合



分岐金具

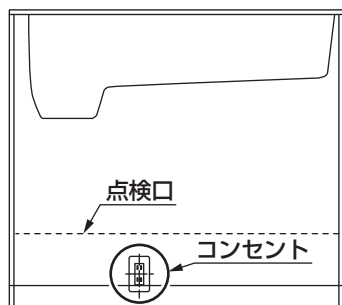
フィルター
(パッキン付き)

フィルター継手

パッキン(青)

4. 取り付け前に

- 給水圧力範囲は、0.07～0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。
- キャビネットの点検口内にコンセントが設置してあることを確認してください。
- 機能部やホース、配線類は、引き出しや収納物が当たらない位置に取り付けてください。
コード類の断線や故障の原因となります。
- 電源はAC100V (50/60Hz)、消費電力は50Wです。
必ずこれに適した配線をしてください。
- 器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
キッチンの給水配管要領に従ってください。
- 水栓本体右側の障害物をセンサーが感知する場合があります。
ご注意ください。
- センサー面を傷つけないよう十分ご注意ください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。



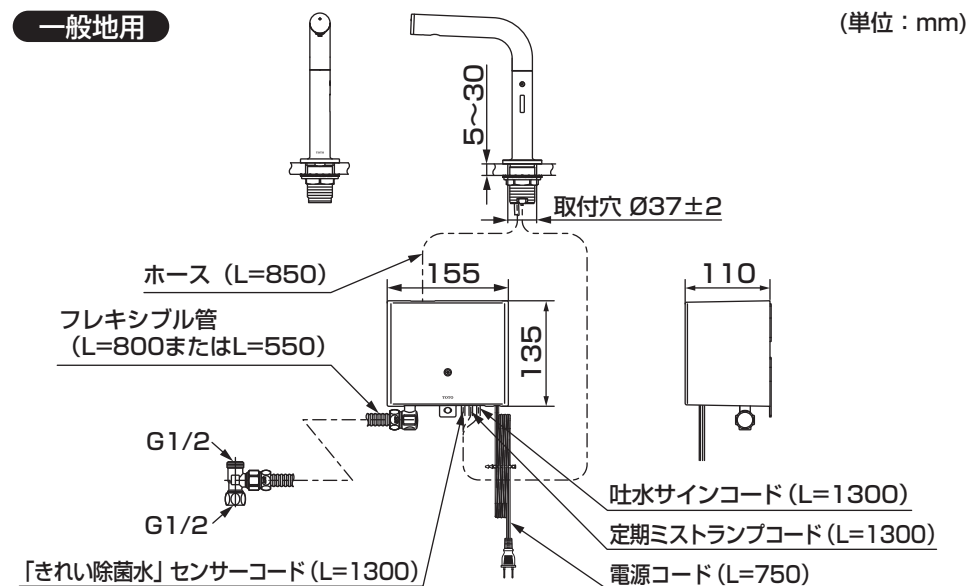
点検口

コンセント

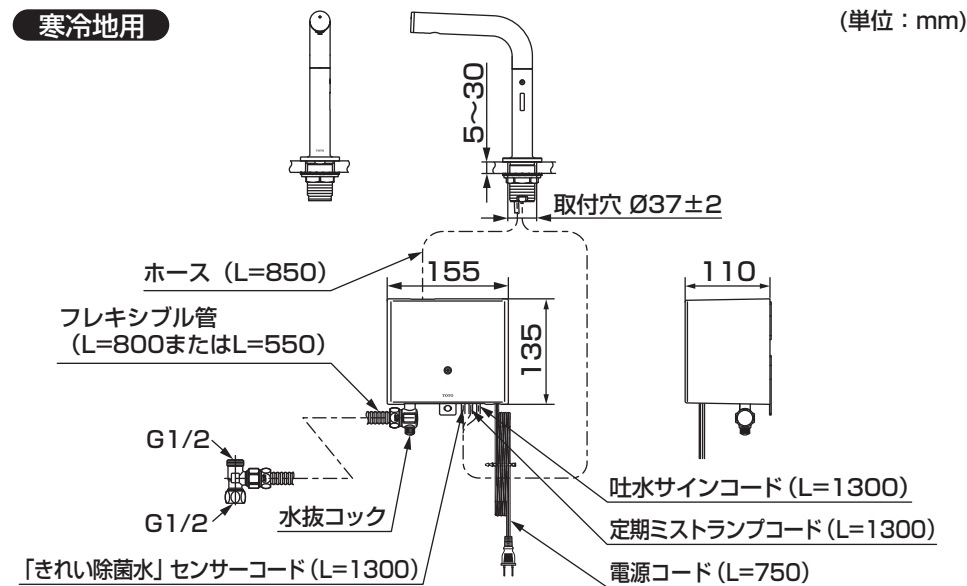
5. 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

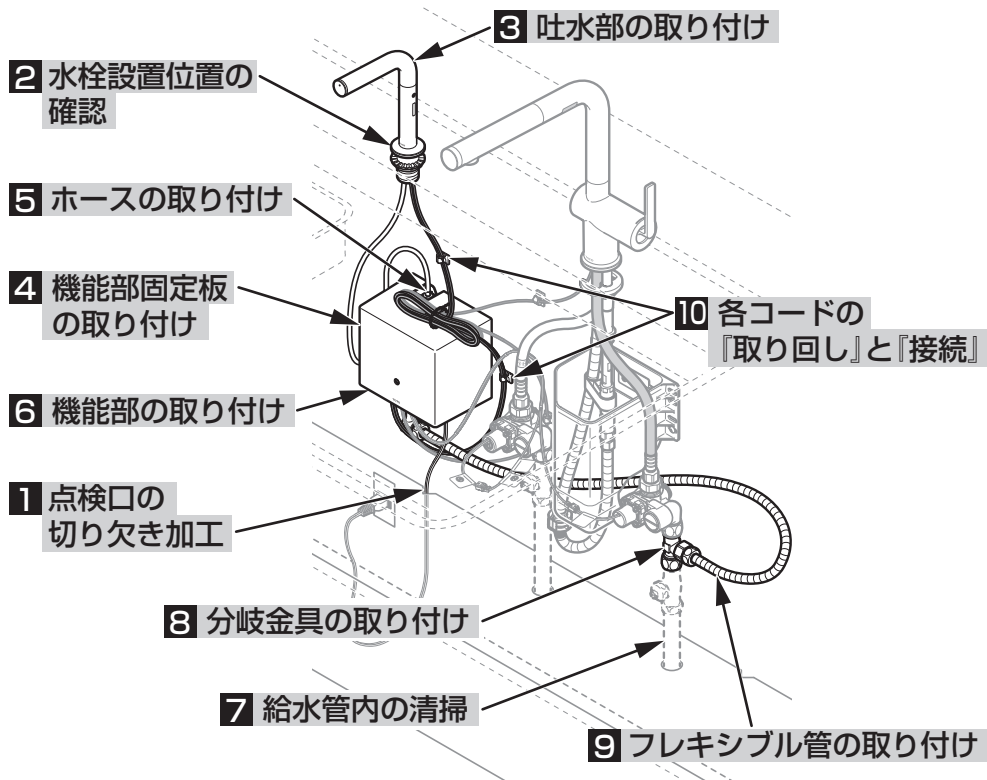
一般地用



寒冷地用



6-1. 施工手順



キッチン施工業者様にて実施してください

- 1 点検口の切り欠き加工
- 2 水栓設置位置の確認
- 3 吐水部の取り付け
- 4 機能部固定板の取り付け
- 5 ホースの取り付け
- 6 機能部の取り付け

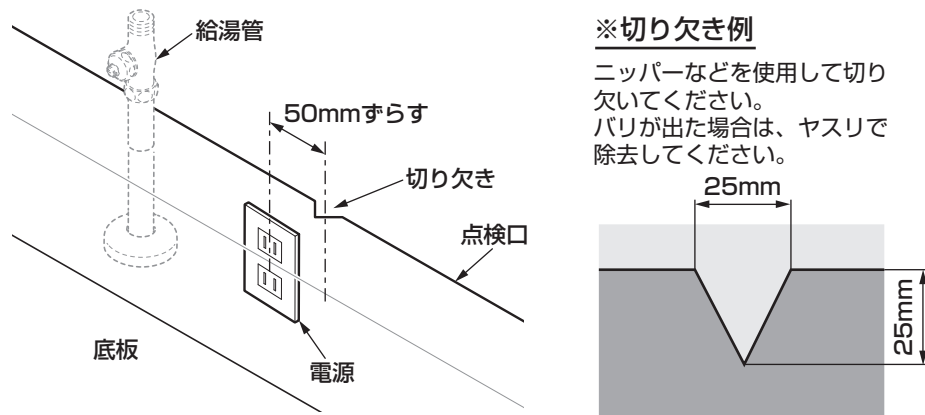
水道工事店様にて実施してください

- 7 給水管内の清掃
- 8 分岐金具の取り付け
- 9 フレキシブル管の取り付け
- 10 各コードの『取り回し』と『接続』

※3 吐水部の取り付けは、キッチンカウンター設置後に実施してください。

1 点検口の切り欠き加工

点検口ありタイプのキャビネットの場合は、点検口へ電源コードを通すための切り欠き加工を行ってください。
切り欠き位置は給水管と電源コードの接触およびコンセントへの直接被水防止のため、コンセントセンターから給湯管とは逆側に50mmずらしてください。
※コンセントの位置はキッチンの施工図を確認してください。

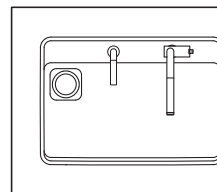


2 水栓設置位置の確認

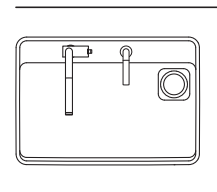
シンクの確認ときれい除菌水栓の設置位置を確認してください。

スクエアすべり台シンク

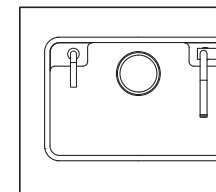
スペースアップシンク、
スペースアップシンクS、
スマイルクリーンシンク、
スマイルクリーンシンクS



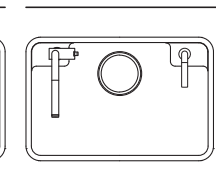
シンク左仕様



シンク右仕様



シンク左仕様

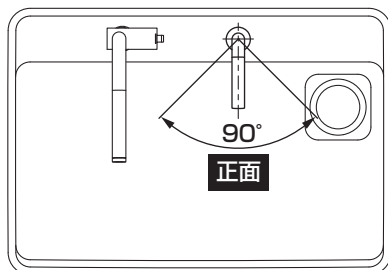


シンク右仕様

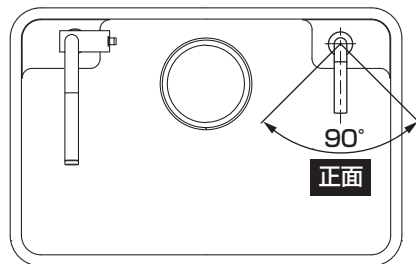
3 吐水部の取り付け

- ①スパウトの正面を確認する。
首振り角度は90°になります。

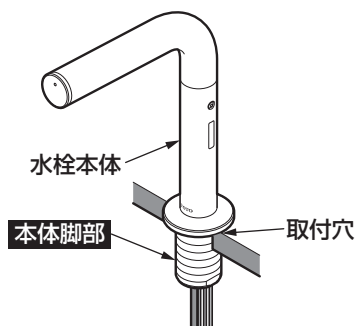
スクエアすべり台シンク



スペースアップシンク、スペースアップシンクS、
スマイルクリーンシンク、スマイルクリーンシンクS



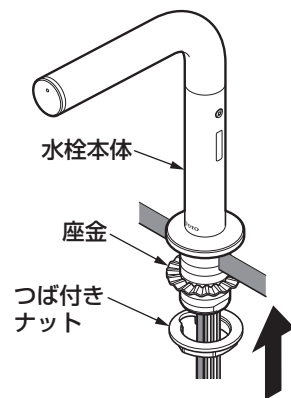
- ②取付穴周囲の汚れを取り、水栓本体
を取付穴に差し込む。



- ③水栓本体脚部に、座金、つば付きナット
の順に通す。

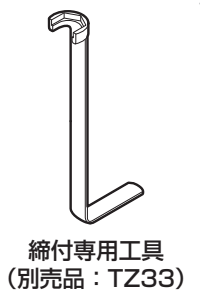
- ④水栓本体のロゴが正面を向くように
手締めで仮固定する。

- ⑤つば付きナットを締付専用
工具で固定する。

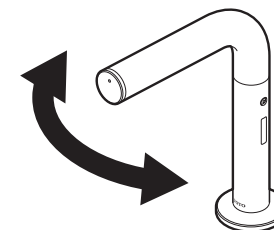


注意

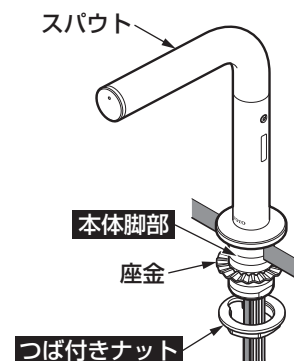
固定には締付専用工具
(別売品：TZ33)を利用
して確実に締め付け
てください。



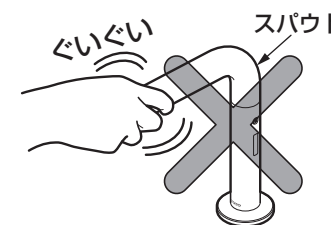
- ⑥スパウトの正面位置にずれがないか
首振り確認する。



正面位置にずれがある場合は、必ずつ
ば付きナットをゆるめて、本体脚部を
持って正面位置をあわせてください。



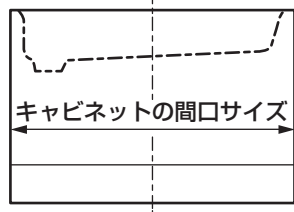
完全固定後のスパウト角度の
手直しは、スパウトを持って
しないでください。
本体が破損するおそれがあります。



6-3.

4-1 機能部固定板の取り付け

- ①シンクの種類を確認する。
- ②キャビネットの間口サイズを確認する。
- ③右記表より機能部固定板の取付位置を確認する。



①シンクの種類	②間口		
	750mm	900mm	1050mm
スクエアすべり台 シンク	—	機能部固定板は 裏板 に取り付ける 	
スペースアップ シンク ・ スマイルクリーン シンク	—		
スペースアップ シンクS ・ スマイルクリーン シンクS	—		

(単位：mm)

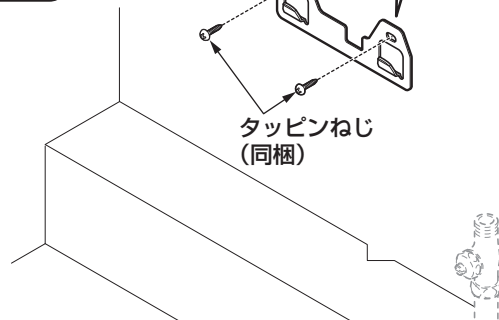
4-2 機能部固定板の取り付け (つづき)

- ④機能部固定板が水平であることを確認してタッピンねじで固定する。(2カ所)

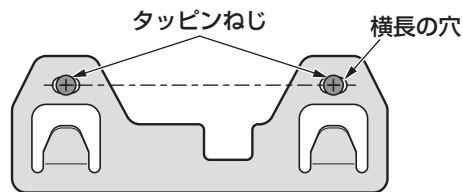
注意

側板に取り付ける場合

下穴をあける際は貫通しないようにしてください。



注意



水平になるように

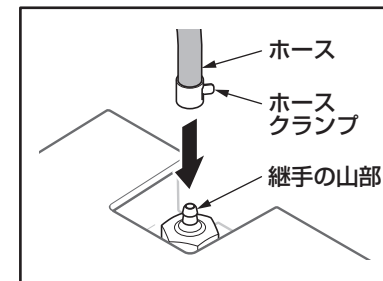
固定板は水平になるように調整してタッピンねじで固定してください。

5 ホースの取り付け

- ①ホースを継手の奥まで差し込む。

注意

ホースを抜き差しする際は真っすぐ垂直に行ってください。

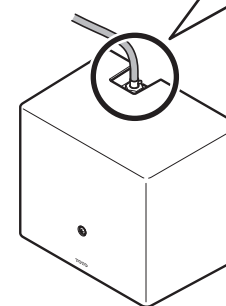


- ②ホースクランプを継手の山部にかぶせて確実に固定する。

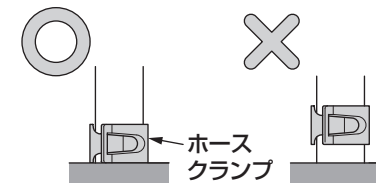
注意

- ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
- ホースクランプは所定の位置にくるようにしてください。
- 必ずホースクランプでホースを固定してください。

ホースが確実に差し込まれていない、もしくはホースクランプで固定されていない場合、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

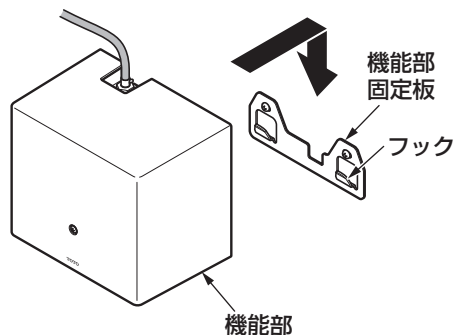


ホースクランプがホース継手の上面に付くこと

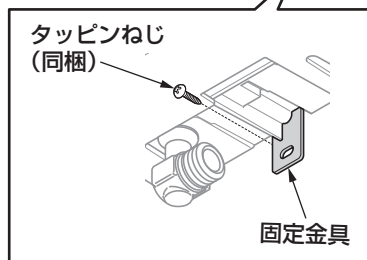
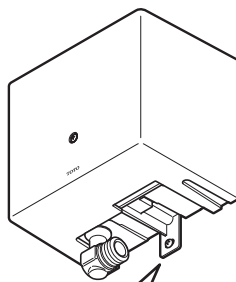


6 機能部の取り付け

①機能部固定板のフックに機能部を取り付ける。(2カ所)



②機能部下側の固定金具をタッピンねじでキャビネットに固定する。(1カ所)



7 給水管内の清掃

重要

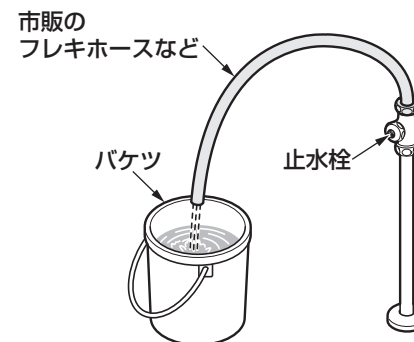
止水栓取り付け後、
必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

注意

給水管内の清掃を行わない場合、給水管内のごみ、砂などが機能部やフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。

- ①水が止まらない
- ②吐水量が少ない

給水管内の清掃は必ず行ってください。



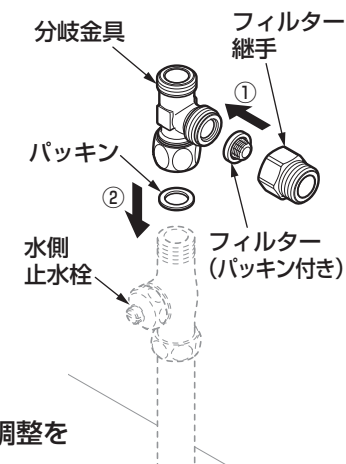
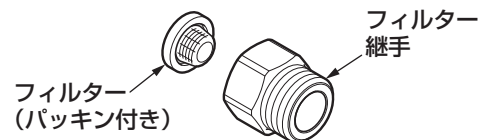
市販のフレキホースなどとバケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続して、ゆっくりと止水栓を開け、給水管内のごみ、砂などを洗い流してください。

8 分岐金具の取り付け

①分岐金具にフィルター継手を接続する。

注意

フィルターの向きに注意してください。



②水側止水栓に分岐金具を仮接続する。

※フレキシブル管を接続する際に分岐金具の位置調整をするため、締め付けないようにしてください。

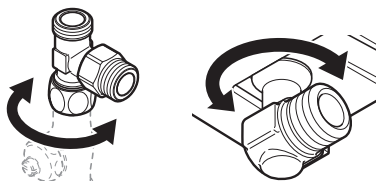
9 フレキシブル管の取り付け ※TKG12312型、TKG12313型とセットの場合は各水栓の施工説明書を確認してください。

①フレキシブル管両端にパッキン（同梱）を入れ分岐金具部に接続する。
（給水側と機能部側ともに接続）

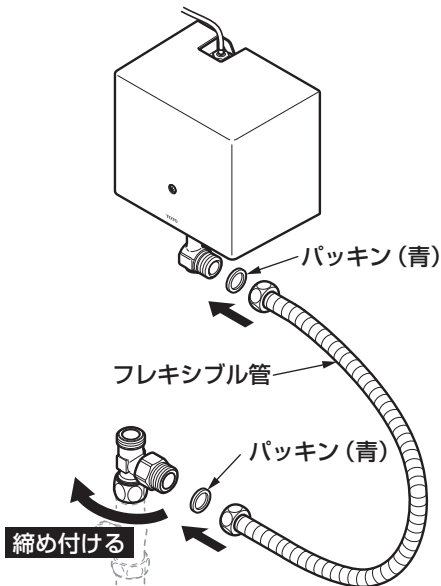
ポイント

分岐金具部

給水継手部



フレキシブル管を取り付ける際は給水継手部と分岐金具部を回転させ調整してください。



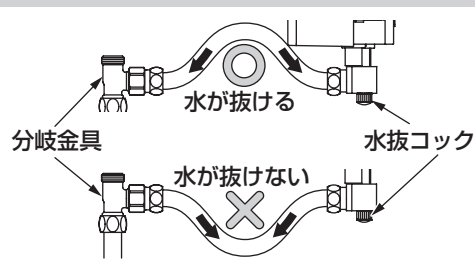
②分岐金具の袋ナットを水側止水栓に締め付ける。

注意

- フレキシブル管の曲げRは内側R40以上にしてください。
- フレキシブル管の取り回しは引き出しと干渉しないように接続してください。

注意

<寒冷地設置の場合>
フレキシブル管内の水が抜けるように、必ず機能部の水抜コックと分岐金具接続部に向かって傾斜するように接続してください。

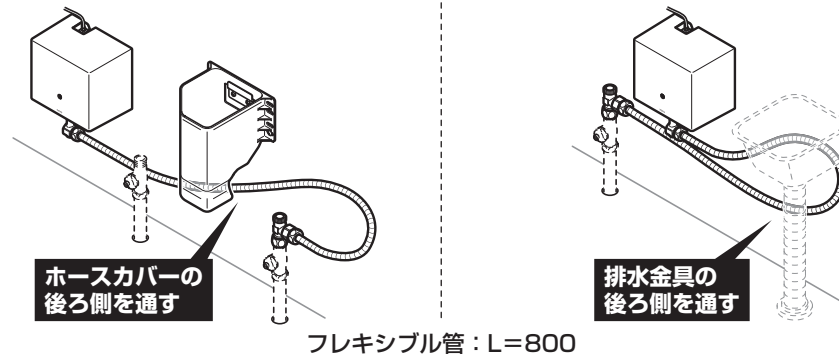


フレキシブル管の取り回し例（一般地／寒冷地共通）

スクエアすべり台シンク

【シンク左仕様】

【シンク右仕様】

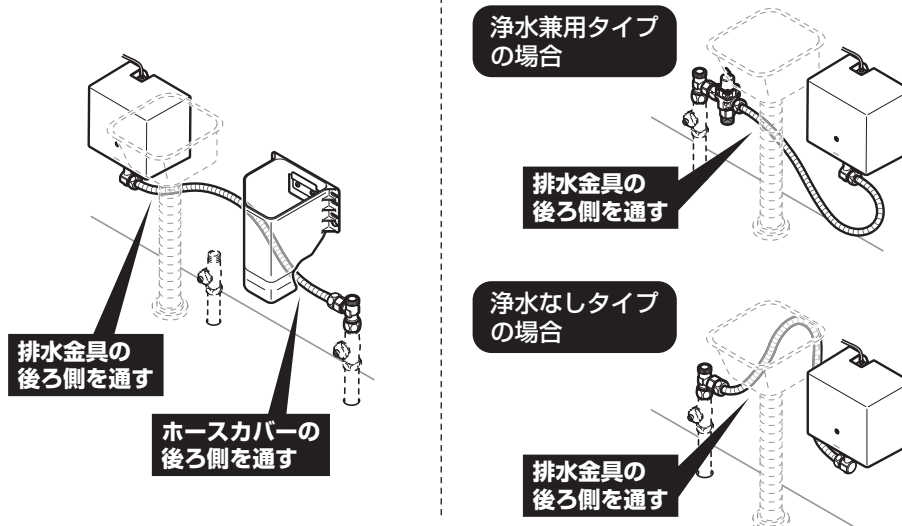


フレキシブル管：L=800

スペースアップシンク・スマイルクリーンシンク
スペースアップシンクS・スマイルクリーンシンクS

【シンク左仕様】

【シンク右仕様】



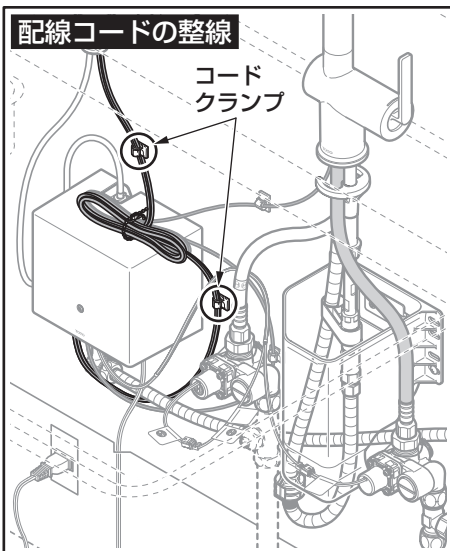
フレキシブル管：L=550

10-1 各コードの『取り回し』と『接続』

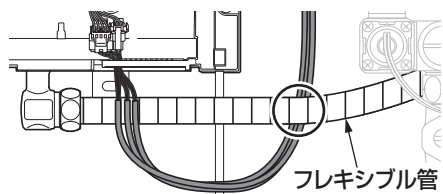
- コード類の接続を確実に実施するため、あらかじめ 10-1 10-2 をご確認ください。ただき作業着手してください。
- 接続後の整線のため、**コードの取り回しが重要**です。特にフレキシブル管後方にコードを通すことがポイントです。
- コード類は給湯管やシャワーホースとの接触を防止するため、結束タイやコードクランプで裏板に固定してください。

注意

各種コードやホースは給湯管などの高温部に接触しないように固定してください。

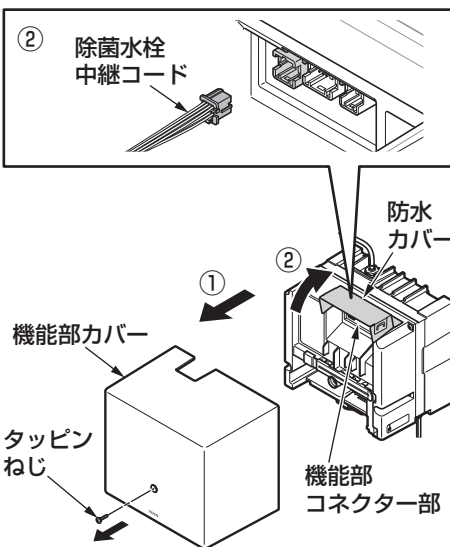


- ①機能部カバーのタッピンねじを外し、機能部カバーを外す。
- ②配線コードの接続
コードはフレキシブル管後方を通し、機能部コネクター部の防水カバーをめくり、コネクターを差し込む。

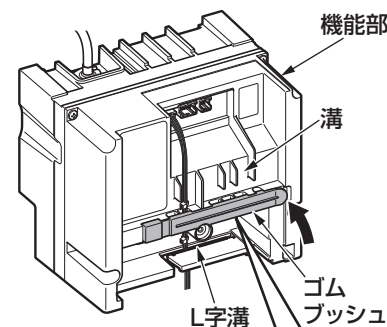
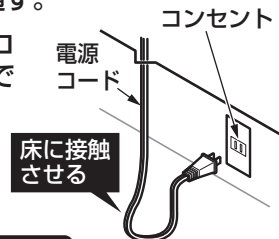


注意

コネクターが確実に差し込まれているか確認してください。

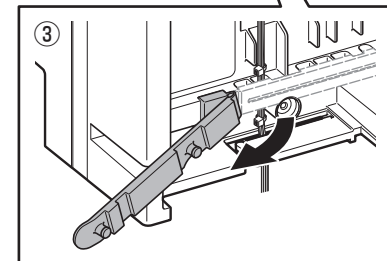


- ③ゴムブッシュを一度外し、コードを機能部の溝に通したあと、ゴムブッシュで上から押さえてコードを整線する。
- ④コードをL字溝に通す。
- ⑤電源コードを電源コンセントの位置まで配線する。

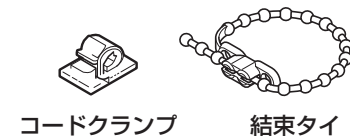


注意

電源コードはキャビネットおよび高温部に接触しないよう、余ったコードは切り欠き口から点検口内に引き込み配線してください。また、電源コードを伝ってコンセントに水がかからないよう、コンセント付近で必ず床に触れるようにしてください。

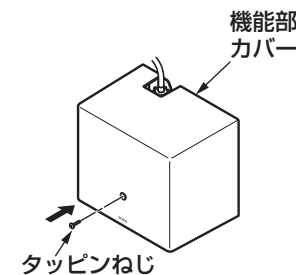


- ⑥各種コードや配線を水栓ケーブルの結束タイや同梱のコードクランプを利用して裏板に固定する。
- ⑦機能部カバーを確実に取り付け、タッピンねじで固定する。



警告

必ず実行 機能部カバーは確実に取り付ける。カバーが取り付けられないと機能部内に水が浸入し、火災や感電の原因になります。



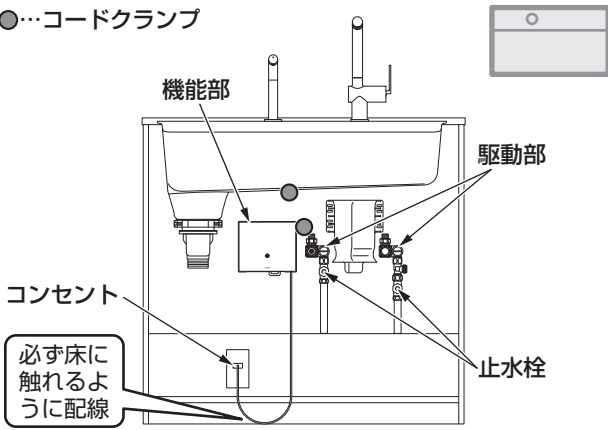
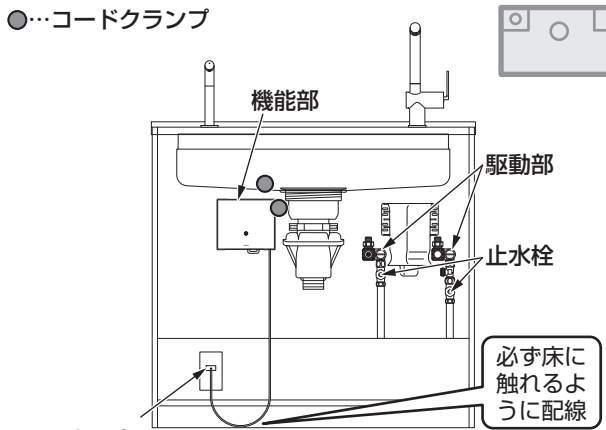
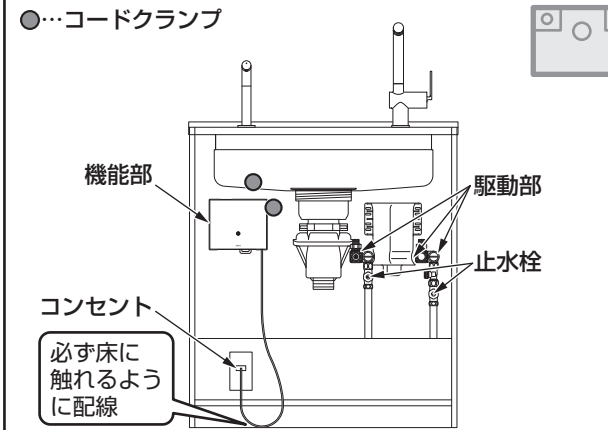
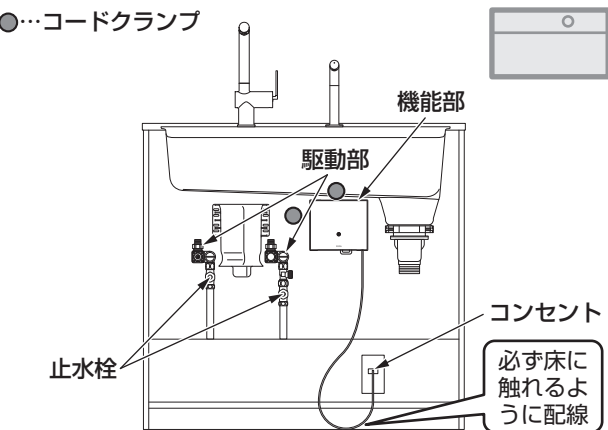
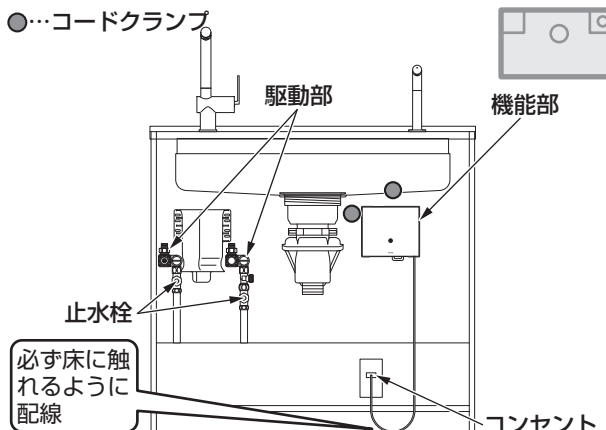
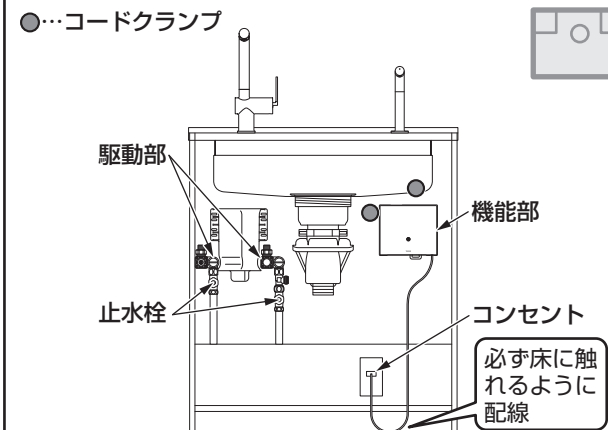
コードクランプの位置はセットパターンを確認してください。

10-2 各コードの『取り回し』と『接続』(つづき)

セットパターンの確認

以下のセットパターンを参照して、コードクランプの位置と配線方法を確認してください。

 : コードクランプ取付箇所 (2カ所)

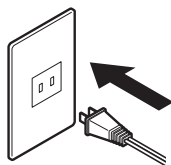
	スクエアすべり台シンク	スペースアップシンク・スマイルクリーンシンク	スペースアップシンクS・スマイルクリーンシンクS
シンク左仕様	<p>●...コードクランプ</p> 	<p>●...コードクランプ</p> 	<p>●...コードクランプ</p> 
シンク右仕様	<p>●...コードクランプ</p> 	<p>●...コードクランプ</p> 	<p>●...コードクランプ</p> 

7. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転および調節を行ってください。

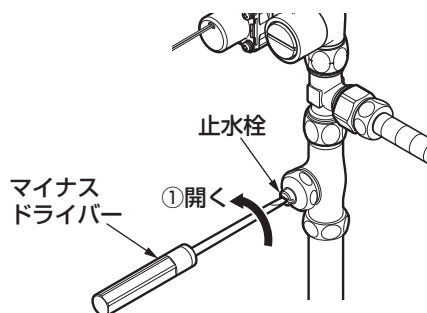
1. 電源を入れる

電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。
※電気工事の場合、仮設電源 (AC100V) に接続してください。



2. 水出し確認

①止水栓を開く。



②センサーに手をかざす。
「きれい除菌水」が出て吐水サイン (青色) が点灯します。約15秒後に自動で止まります。
吐水中にセンサーに手をかざすと約3秒間、吐水サインが点滅し止水します。

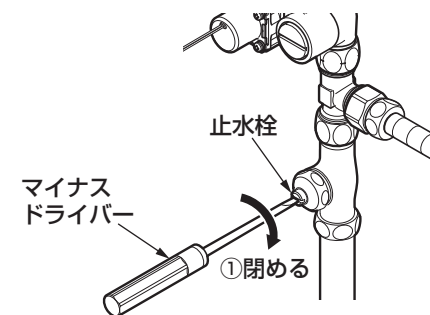


ミスト状態の「きれい除菌水」がシンク内に向かって噴霧されます。
吐水量は1回 (約15秒) あたり約60cc

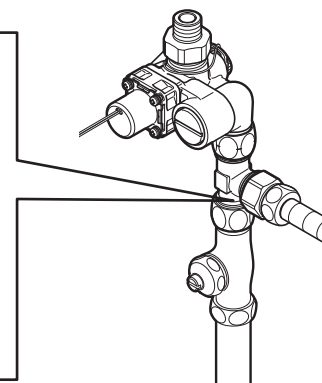
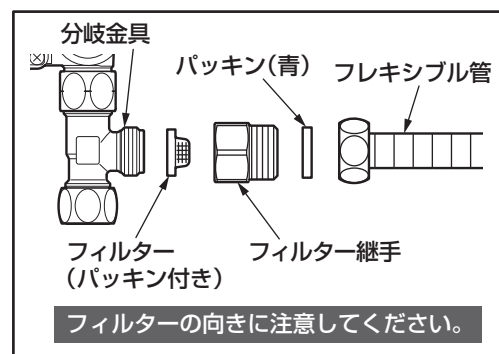
3. フィルターの掃除

試運転後は必ずフィルターを掃除してください。フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。

①止水栓または元栓を確実に閉める。



②フレキシブル管のナットを外す。
分岐金具からフィルター継手を外す。
③フィルター継手からフィルターを外し、清掃する。

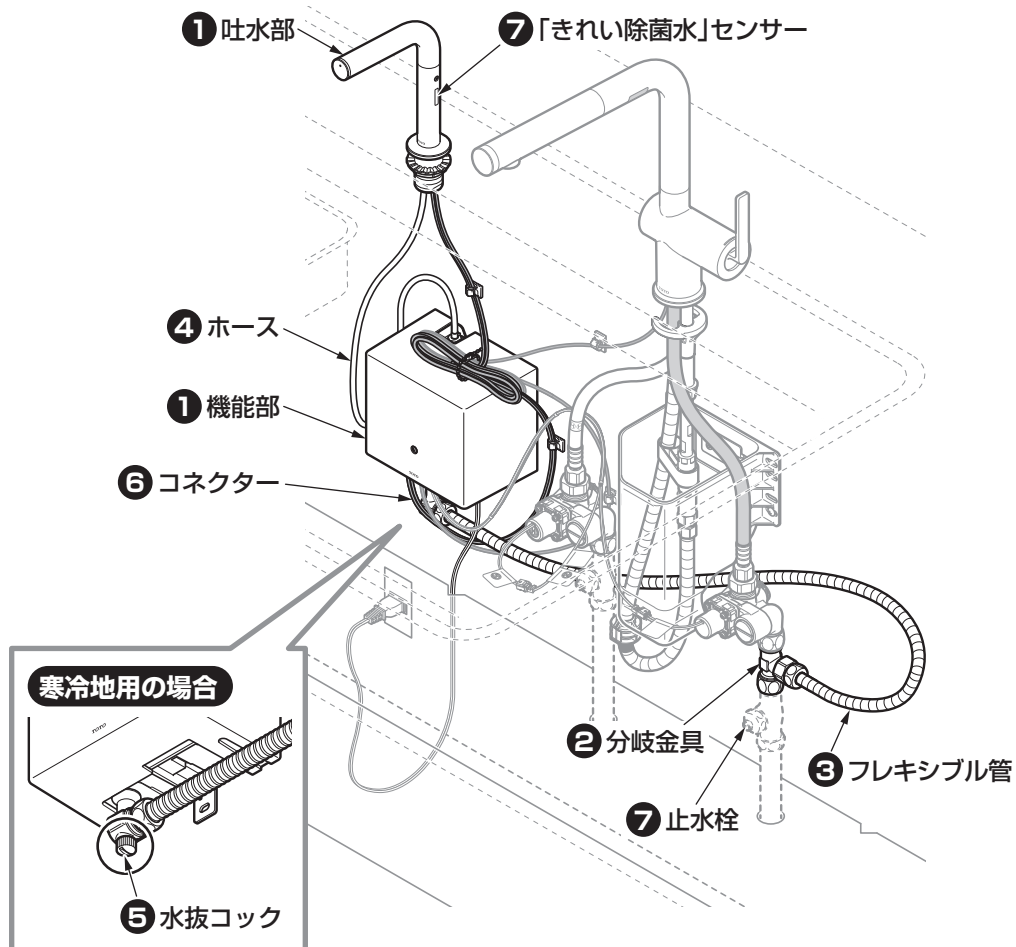


注意

フィルター清掃後は、図の通りにフレキシブル管のナット、フィルター継手を確実に締め付けしてください。

8. 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

① 吐水部および機能部にガタツキがないですか？

- ↳ 6-2. ③ 吐水部の取り付け 参照
- ↳ 6-4. ④-2. 機能部固定板の取り付け(つづき) 参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

② 分岐金具部の水漏れはないですか？

- ↳ 6-5. ⑧ 分岐金具の取り付け 参照

③ フレキシブル管部の水漏れはないですか？

- ↳ 6-6. ⑨ フレキシブル管の取り付け 参照

④ ホースは機能部に接続していますか？

- ↳ 6-4. ⑤ ホースの取り付け 参照

⑤ (寒冷地用の場合) 水抜コックは、しっかり閉まっていますか？

- ↳ 水抜コックを閉める

動作確認

動作はスムーズに行えるか確認してください。

⑥ コネクターがしっかり差し込まれていますか？

- ↳ 6-7. ⑩-1. 各コードの『取り回し』と『接続』 参照

⑦ センサーに手をかざして「きれい除菌水」が噴霧されますか？

- ↳ 止水栓は開いていますか？
- ↳ 7. ②. 水出し確認 参照

9. 寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

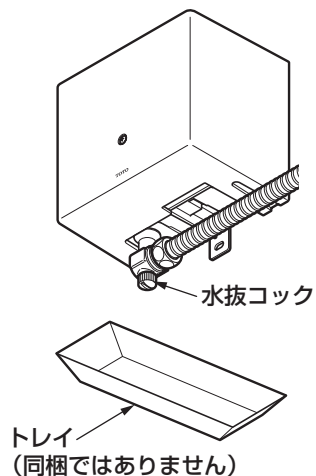
水栓内の水抜き作業を行う前に、配管内の水抜きを必ず行ってください。配管内の水抜きを行っていないと、水栓内の水が十分に抜けず凍結のおそれがあります。

重要

下記の手順に従って水栓の水抜きを行ってください。

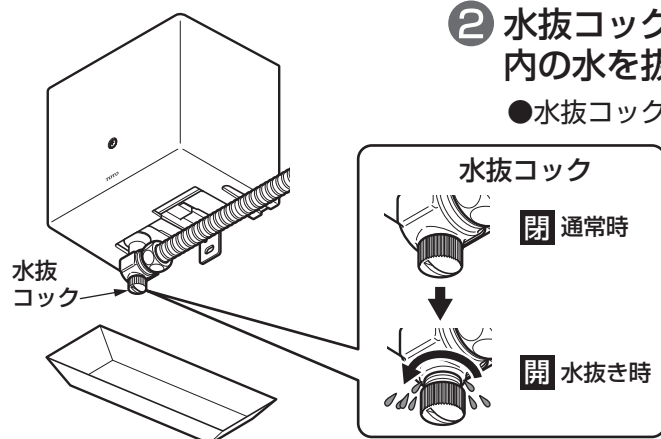
① 水抜コックの下にトレイなどを置く。

約80ccの水が出ます。
(5秒間程度)



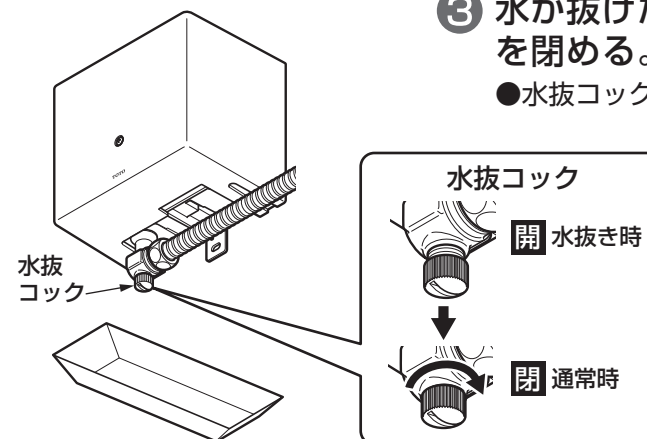
② 水抜コックを開けて、配管内の水を抜く。

●水抜コック：1カ所



③ 水が抜けたら、水抜コックを閉める。

●水抜コック：1カ所



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しく下さい。

フレキシブル管を取り付ける際に参考にしてください。

注意

重要



禁止

内側R40以下の曲げは絶対しない
破損して、水漏れにより家財などをぬらす
財産損害発生のおそれがあります。

